



あなたの、いちばんであるために。

やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

中小企業景況レポート 2025年1~3月期 No.69

2025.4.15 発刊

■ 調査要領 ■

1. 調査対象
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
2. 調査時期・期間
調査時期：2025年3月3日～7日
調査期間：今期実績 2025年1月～3月
来期見通し 2025年4月～6月
3. 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
4. 分析方法
D Iを中心に分析
5. 特別調査
「外国人・海外情勢と中小企業」

■ 調査対象と回答状況 ■

| 業 種 | 企 業 数 | 回 答 数 | 回 答 率 |
|-----------|-------|-------|--------|
| 製 造 業 | 28 | 27 | 96.4% |
| 卸 売 業 | 15 | 15 | 100.0% |
| 小 売 業 | 17 | 16 | 94.1% |
| サ ー ビ ス 業 | 26 | 26 | 100.0% |
| 建 設 業 | 23 | 21 | 91.3% |
| 不 動 産 業 | 11 | 11 | 100.0% |
| 合 計 | 120 | 116 | 96.7% |

※ D I (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合－「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合

DI は $50 \times 「良い・やや良い」 - 20 \times 「悪い・やや悪い」 = +30$ となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

業 況 判 断 D I

| 業 種 | 前 期 | 今期実績 | | | 来期見通し | | |
|-----------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|
| | | 良い | 悪い | D I | 良い | 悪い | D I |
| 総 合 | 1.8 | 23.2 | 25.8 | ▲2.6 | 20.6 | 23.2 | ▲2.6 |
| 製 造 業 | 0.0 | 18.5 | 40.7 | ▲22.2 | 14.8 | 40.7 | ▲25.9 |
| 卸 売 業 | 14.3 | 13.3 | 20.0 | ▲6.7 | 20.0 | 6.6 | 13.4 |
| 小 売 業 | ▲5.9 | 12.5 | 18.7 | ▲6.2 | 18.7 | 18.7 | 0.0 |
| サ ー ビ ス 業 | 16.0 | 26.9 | 34.6 | ▲7.7 | 23.0 | 19.2 | 3.8 |
| 建 設 業 | ▲5.0 | 28.5 | 14.2 | 14.3 | 19.0 | 23.8 | ▲4.8 |
| 不 動 産 業 | ▲18.2 | 45.4 | 9.0 | 36.4 | 36.3 | 18.1 | 18.2 |

業 種 別 景 気 天 気 図

| 業 種 | 前 期 | 今 期 | 見 通 し |
|-----------|-----|-----|-------|
| 総 合 | | | |
| 製 造 業 | | | |
| 卸 売 業 | | | |
| 小 売 業 | | | |
| サ ー ビ ス 業 | | | |
| 建 設 業 | | | |
| 不 動 産 業 | | | |

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区66社、東部地区32社、相模原周辺地区18社

| 31以上 | 11~30 | 10~▲10 | ▲11~▲30 | ▲31以上 |
|------|-------|--------|---------|-------|
| | | | | |

概況

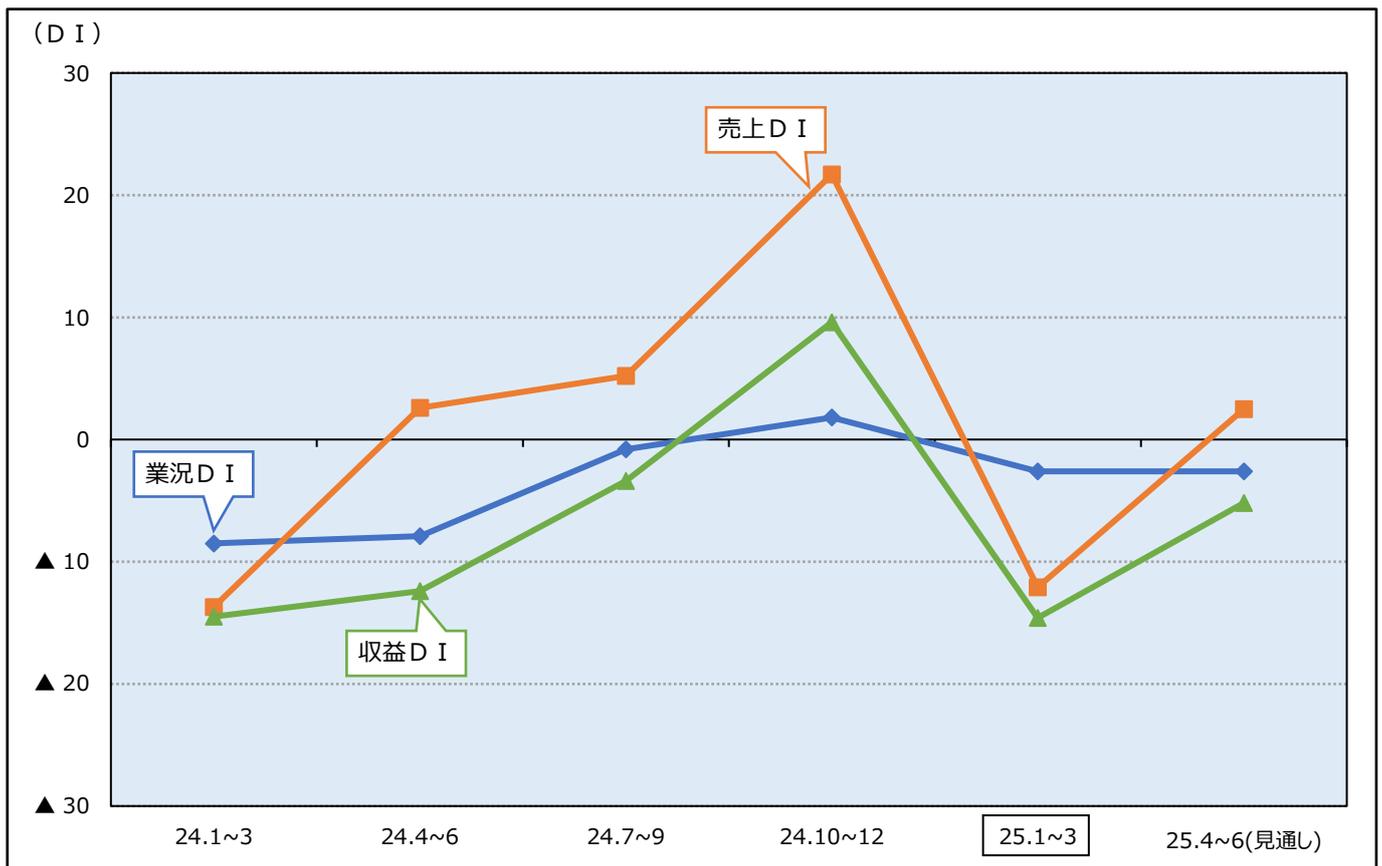
<業況・売上・収益>

今期（1～3月、以下同じ。）のD Iをみると、業況D Iは前期（10～12月、以下同じ。）1.8から▲2.6と、4.4ポイント悪化（前年同期比5.9ポイント改善）しました。売上D Iは同21.7から▲12.1と、33.8ポイント悪化（同比1.6ポイント改善）、収益D Iは同9.6から▲14.6と、24.2ポイント悪化（同比0.1ポイント悪化）しました。

全業種総合の来期見通し（4～6月、以下同じ。）をみると、業況D Iは▲2.6と、今期実績比横這いの見通しとなりました。売上D Iは同▲12.1から2.5と、同比14.6ポイント改善、収益D Iは同▲14.6から▲5.2と、同比9.4ポイント改善の見通しとなりました。

■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移 ■

| | 24.1～3 | 24.4～6 | 24.7～9 | 24.10～12 | 25.1～3 | 25.4～6 見通し |
|-------|--------|--------|--------|----------|--------|------------|
| 業況D I | ▲8.5 | ▲7.9 | ▲0.8 | 1.8 | ▲2.6 | ▲2.6 |
| 売上D I | ▲13.7 | 2.6 | 5.2 | 21.7 | ▲12.1 | 2.5 |
| 収益D I | ▲14.5 | ▲12.4 | ▲3.4 | 9.6 | ▲14.6 | ▲5.2 |

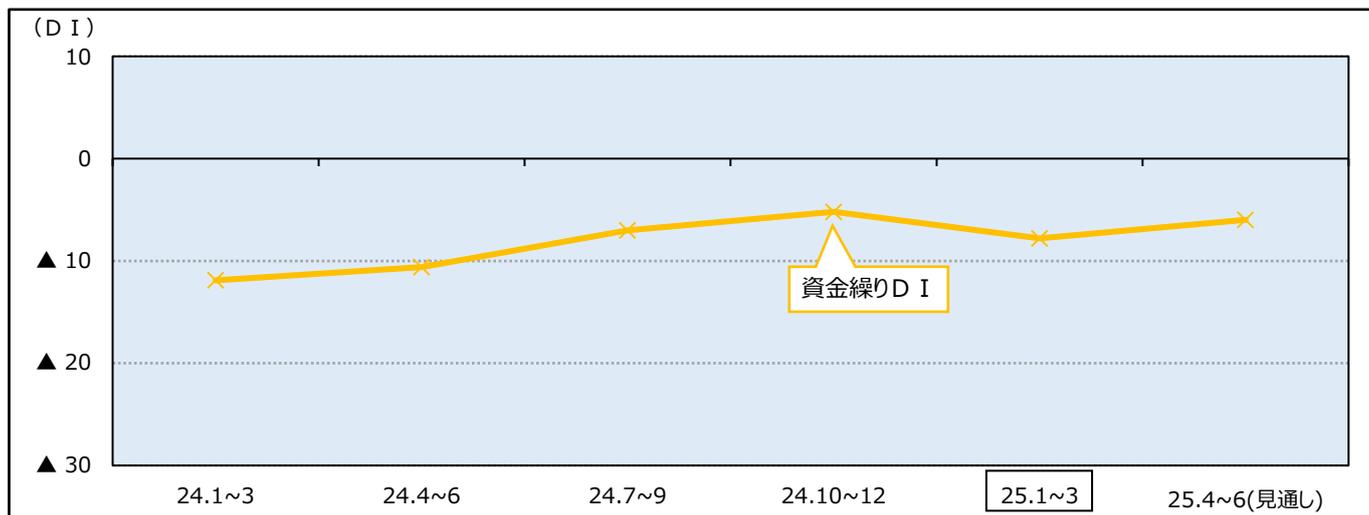


<資金繰り>

今期の資金繰りD Iは前期▲5.2から▲7.8と、2.6ポイント悪化（前年同期比4.1ポイント改善）しました。また、来期は▲6.0と、今期実績比1.8ポイント改善の見通しとなりました。

■ 資金繰りD Iの時系列推移 ■

| | 24.1~3 | 24.4~6 | 24.7~9 | 24.10~12 | 25.1~3 | 25.4~6 見通し |
|---------|--------|--------|--------|----------|--------|------------|
| 資金繰りD I | ▲11.9 | ▲10.6 | ▲7.0 | ▲5.2 | ▲7.8 | ▲6.0 |



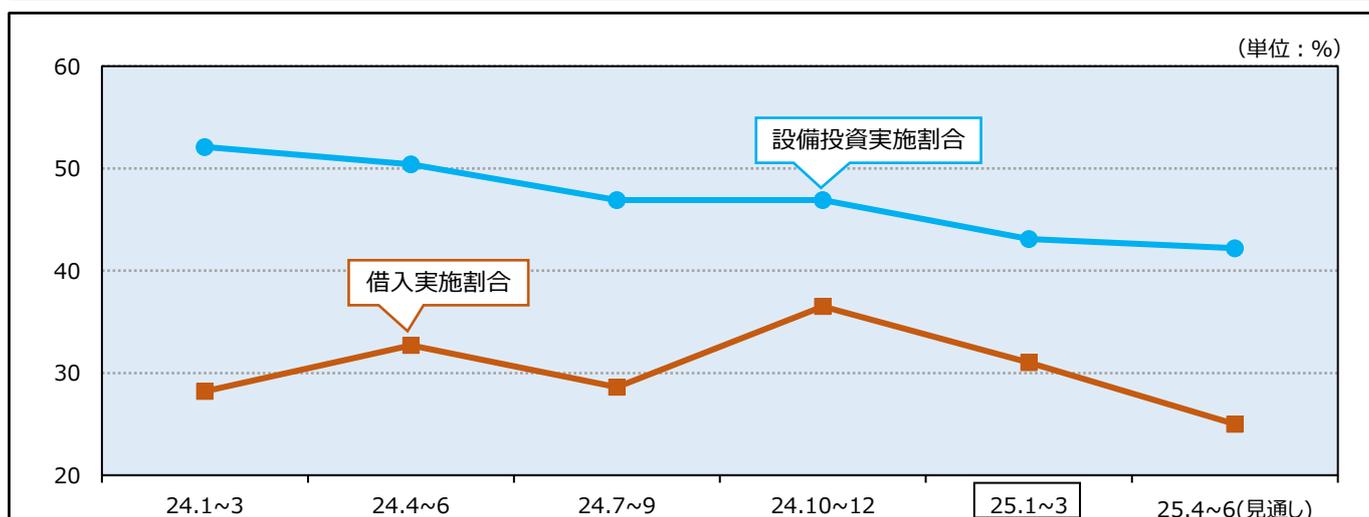
<設備投資・借入動向>

今期の不動産を除いた設備投資実施企業割合は、前期46.9%から43.1%と、前期比3.8ポイント低下（前年同期比9.0ポイント低下）となりました。また、来期は42.2%と、今期実績比0.9ポイントの低下が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期36.5%から31.0%と、前期比5.5ポイント低下（前年同期比2.8ポイント上昇）しました。また、来期は25.0%と、今期実績比6.0ポイントの低下が見込まれます。

■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移 ■

| | 24.1~3 | 24.4~6 | 24.7~9 | 24.10~12 | 25.1~3 | 25.4~6 見通し |
|----------|--------|--------|--------|----------|--------|------------|
| 設備投資実施割合 | 52.1% | 50.4% | 46.9% | 46.9% | 43.1% | 42.2% |
| 借入実施割合 | 28.2% | 32.7% | 28.6% | 36.5% | 31.0% | 25.0% |



製造業

■ 主要D Iの推移 ■

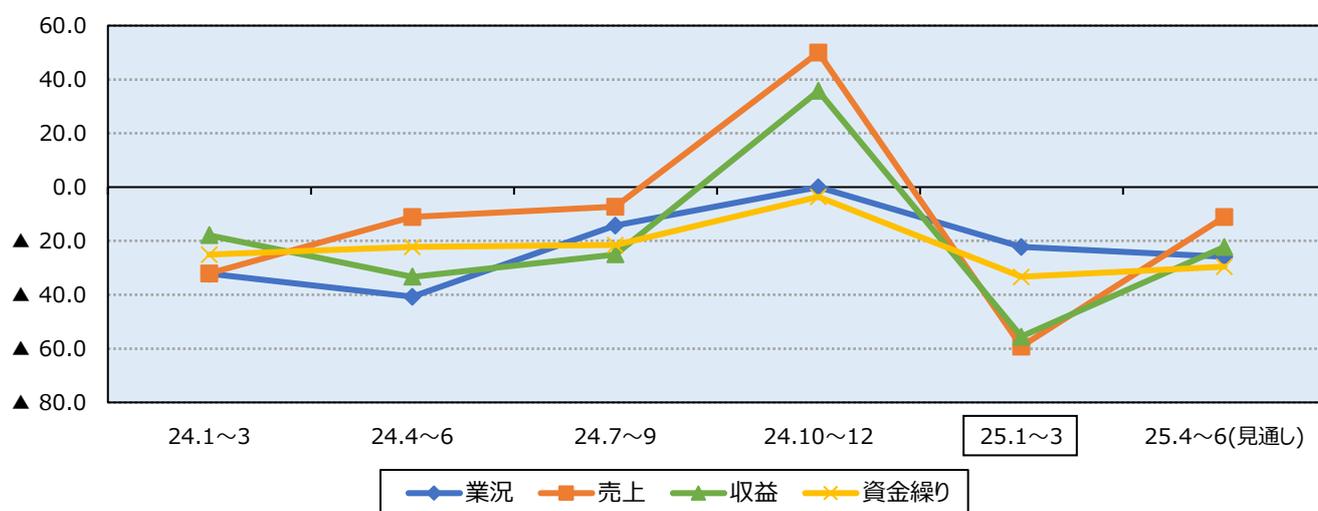
| | 前年同期 | 前期 | 今期 | 来期 |
|---------|-------|------|-------|-------|
| 業 況 | ▲32.2 | 0.0 | ▲22.2 | ▲25.9 |
| 売 上 | ▲32.1 | 50.0 | ▲59.2 | ▲11.1 |
| 収 益 | ▲17.9 | 35.7 | ▲55.5 | ▲22.2 |
| 資 金 繰 り | ▲25.0 | ▲3.6 | ▲33.3 | ▲29.6 |

【今期】

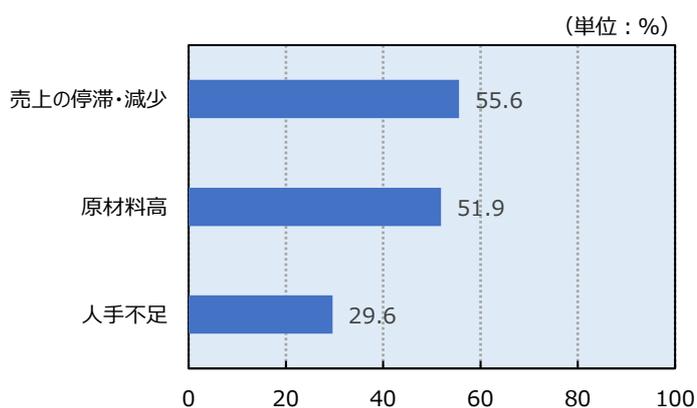
前期比で、すべてのD Iが悪化しました。特に、売上D Iが同比109.2ポイント、収益D Iが同比91.2ポイントと大きく悪化しました。前年同期比では、業況D Iを除いて悪化しました。

【来期】

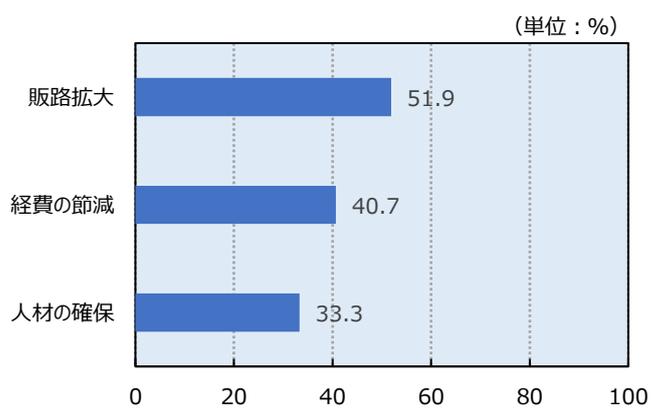
今期実績比で、業況D Iを除いて改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○人員の定着に向けて、労働環境の改善に取り組んでいる。(貴金属)

○半導体関連の生産調整等により、受注量が低調に推移している。(精密機械部品)

卸売業

■ 主要D Iの推移 ■

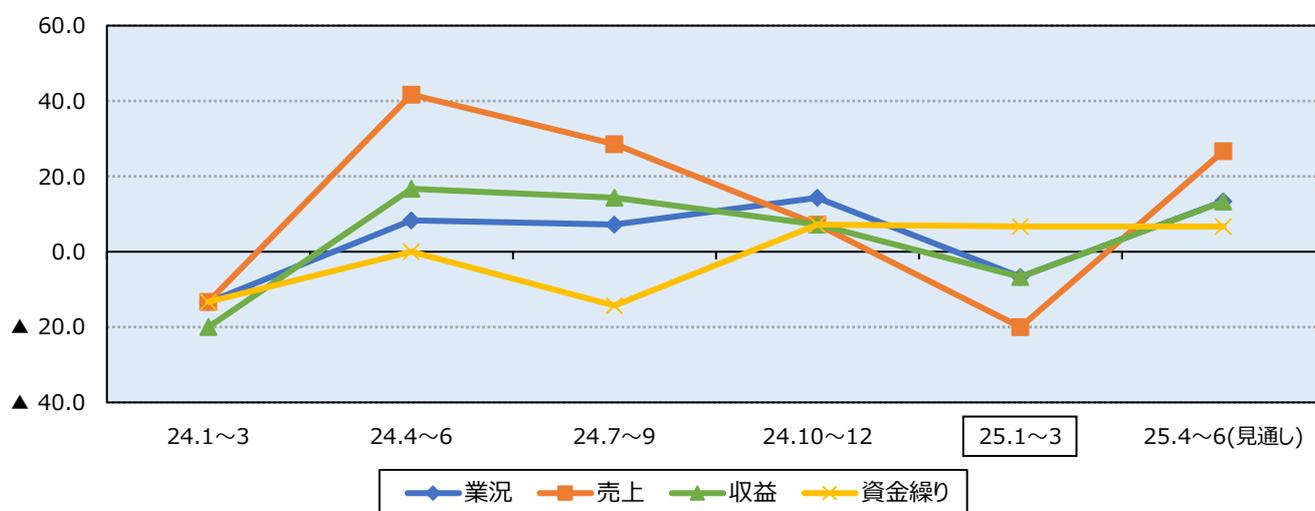
| | 前年同期 | 前期 | 今期 | 来期 |
|------|-------|------|-------|------|
| 業況 | ▲13.4 | 14.3 | ▲6.7 | 13.4 |
| 売上 | ▲13.3 | 7.2 | ▲20.0 | 26.7 |
| 収益 | ▲20.0 | 7.2 | ▲6.7 | 13.3 |
| 資金繰り | ▲13.3 | 7.2 | 6.7 | 6.7 |

【今期】

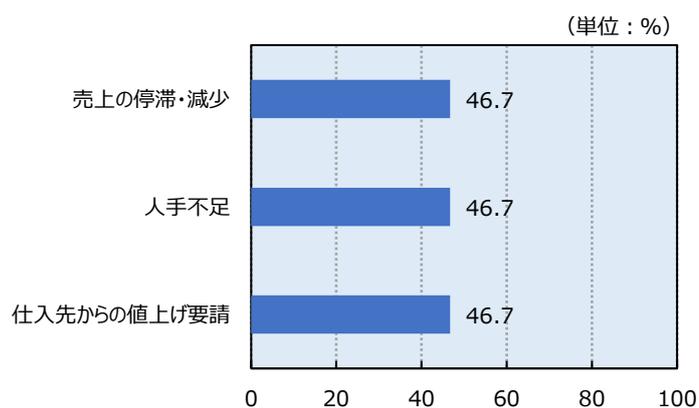
前期比で、すべてのD Iが悪化しました。前年同期比では、売上D Iを除いて改善しました。

【来期】

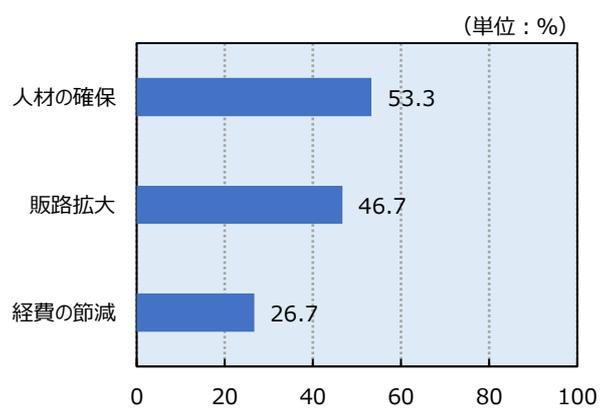
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○社員の高齢化が進んでおり、若手人材の確保に注力している。(医療検査機器)

○仕入価格が安定しないため、価格転嫁に苦慮している。(建築材料)

小売業

■ 主要D Iの推移 ■

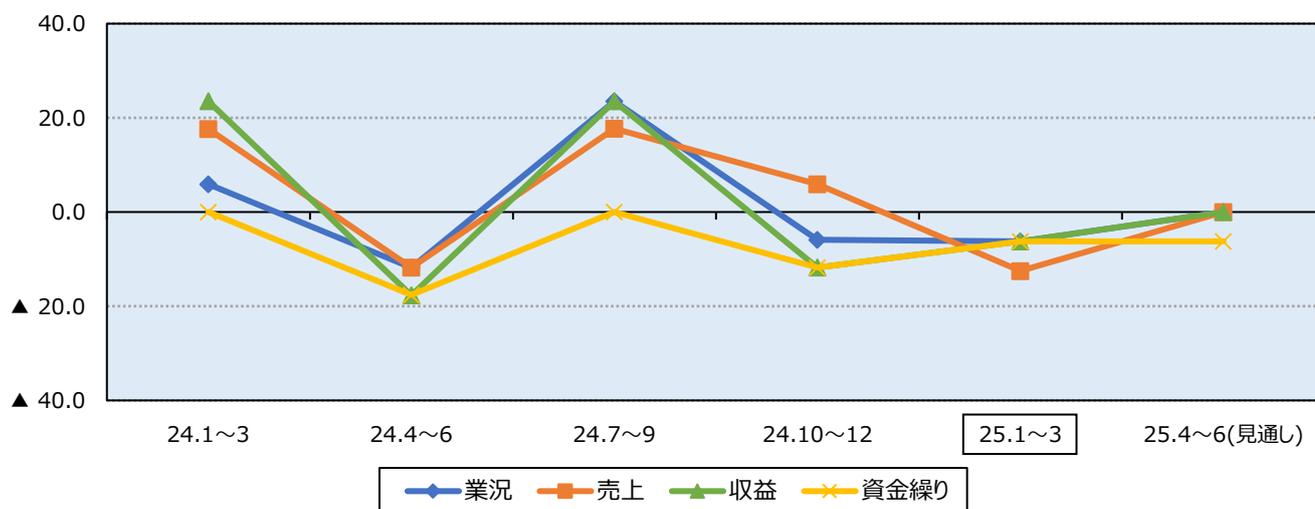
| | 前年同期 | 前期 | 今期 | 来期 |
|---------|------|-------|-------|------|
| 業 況 | 5.9 | ▲5.9 | ▲6.2 | 0.0 |
| 売 上 | 17.6 | 5.9 | ▲12.5 | 0.0 |
| 収 益 | 23.5 | ▲11.8 | ▲6.2 | 0.0 |
| 資 金 繰 り | 0.0 | ▲11.8 | ▲6.2 | ▲6.2 |

【今期】

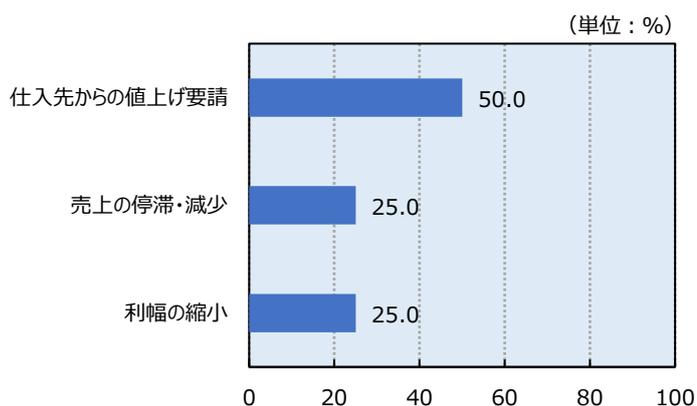
前期比で、業況D I と売上D I が悪化し、収益D I と資金繰りD I が改善しました。前年同期比では、すべてのD I が悪化しました。

【来期】

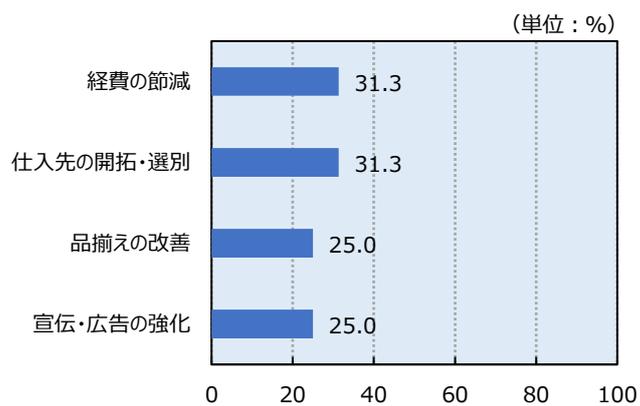
今期実績比で、資金繰りD I を除いて改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○今後は海外への販路拡大に注力していく予定である。(酒類)

○メイン販売先の内製化を受け、新規取引先の獲得に向けた営業活動に取り組んでいる。(仕出弁当)

サービス業

■ 主要D Iの推移 ■

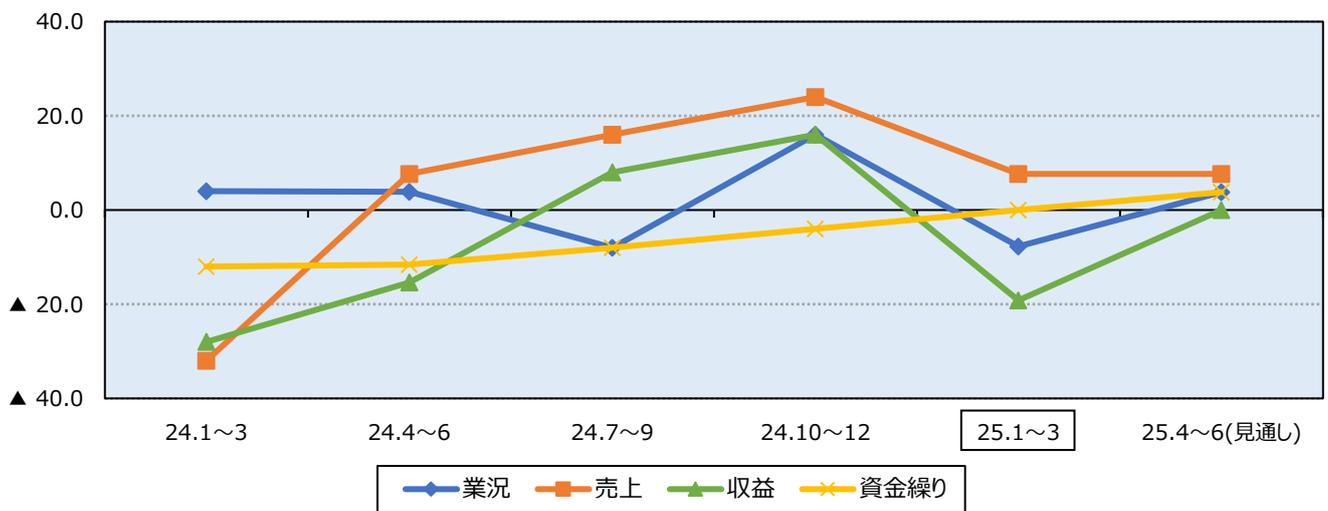
| | 前年同期 | 前期 | 今期 | 来期 |
|------|-------|------|-------|-----|
| 業況 | 4.0 | 16.0 | ▲7.7 | 3.8 |
| 売上 | ▲32.0 | 24.0 | 7.7 | 7.7 |
| 収益 | ▲28.0 | 16.0 | ▲19.2 | 0.0 |
| 資金繰り | ▲12.0 | ▲4.0 | 0.0 | 3.8 |

【今期】

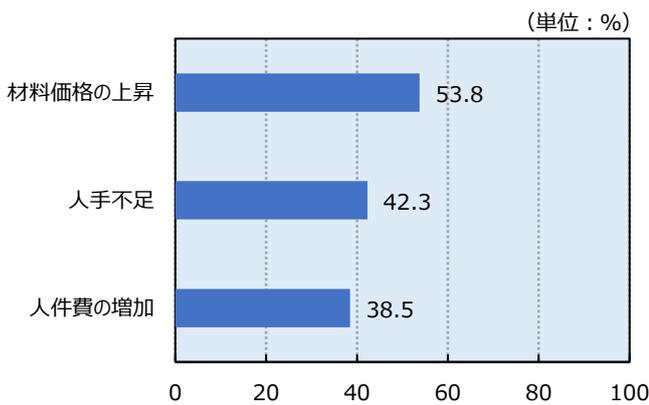
前期比で、資金繰りD Iを除いて悪化しました。前年同期比では、業況D Iを除いて改善しました。

【来期】

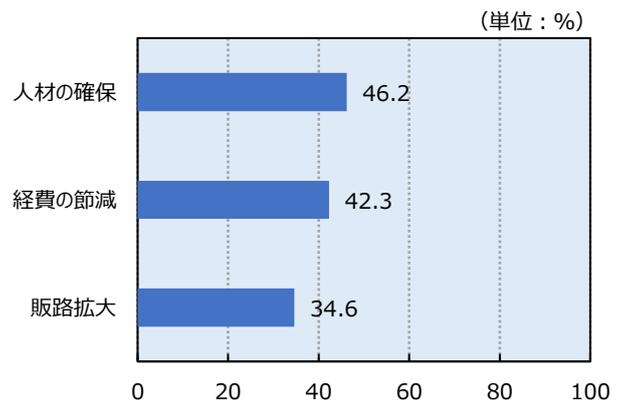
今期実績比で、売上D Iを除いて改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○原材料の見直しを行い、以前よりも高品質で低価格の材料の仕入れが可能となった。(飲食)

○インバウンドの受入れに注力し、収益増加につなげたいと考えている。(宿泊)

建設業

■ 主要D Iの推移 ■

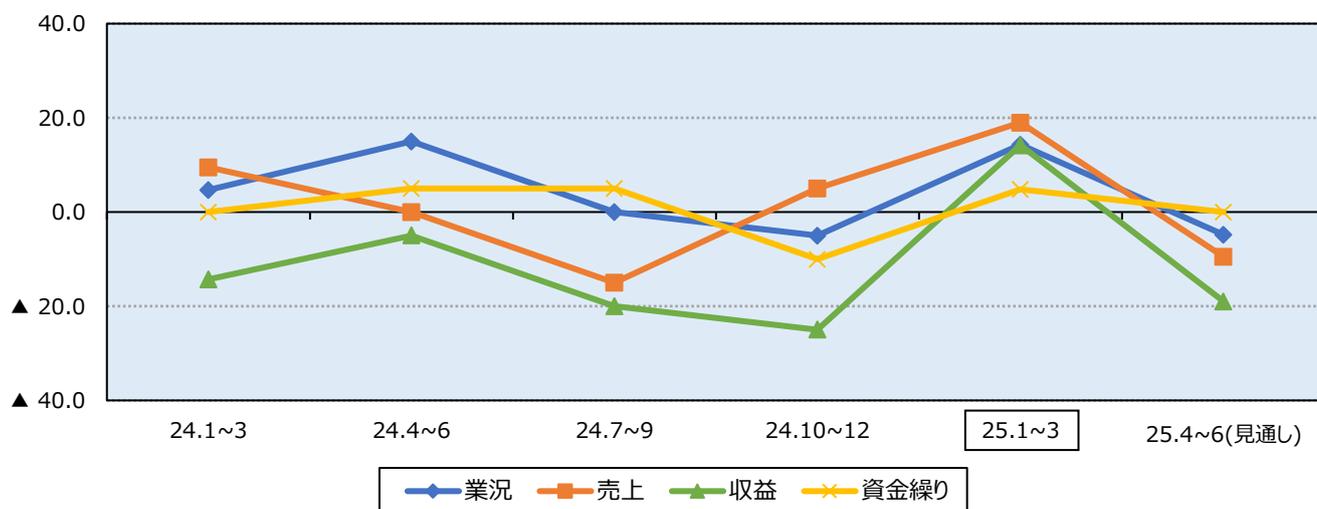
| | 前年同期 | 前期 | 今期 | 来期 |
|------|-------|-------|------|-------|
| 業況 | 4.7 | ▲5.0 | 14.3 | ▲4.8 |
| 売上 | 9.5 | 5.0 | 19.0 | ▲9.5 |
| 収益 | ▲14.3 | ▲25.0 | 14.2 | ▲19.0 |
| 資金繰り | 0.0 | ▲10.0 | 4.8 | 0.0 |

【今期】

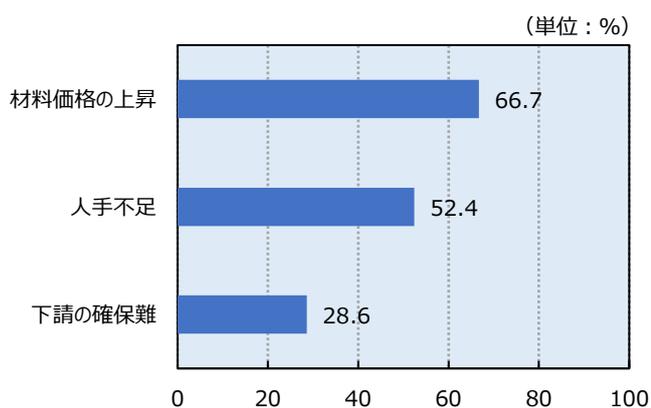
前期比および前年同期比で、すべてのD Iが改善しました。

【来期】

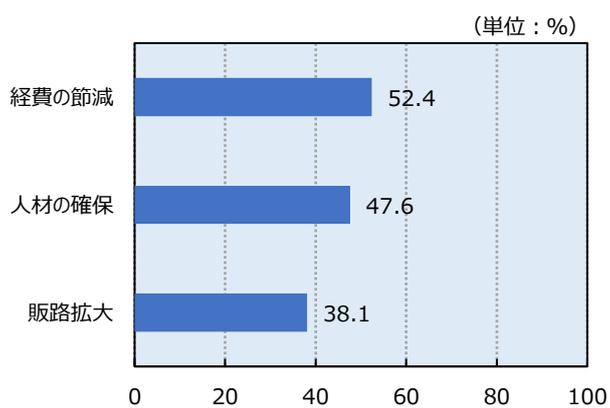
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○インバウンド需要により、民泊やグランピング等の設備関連工事の受注が増加している。(電気設備工事)

○職人の人手不足により、シニア雇用や中途採用等を検討している。(土木工事)

不動産業

■ 主要D Iの推移 ■

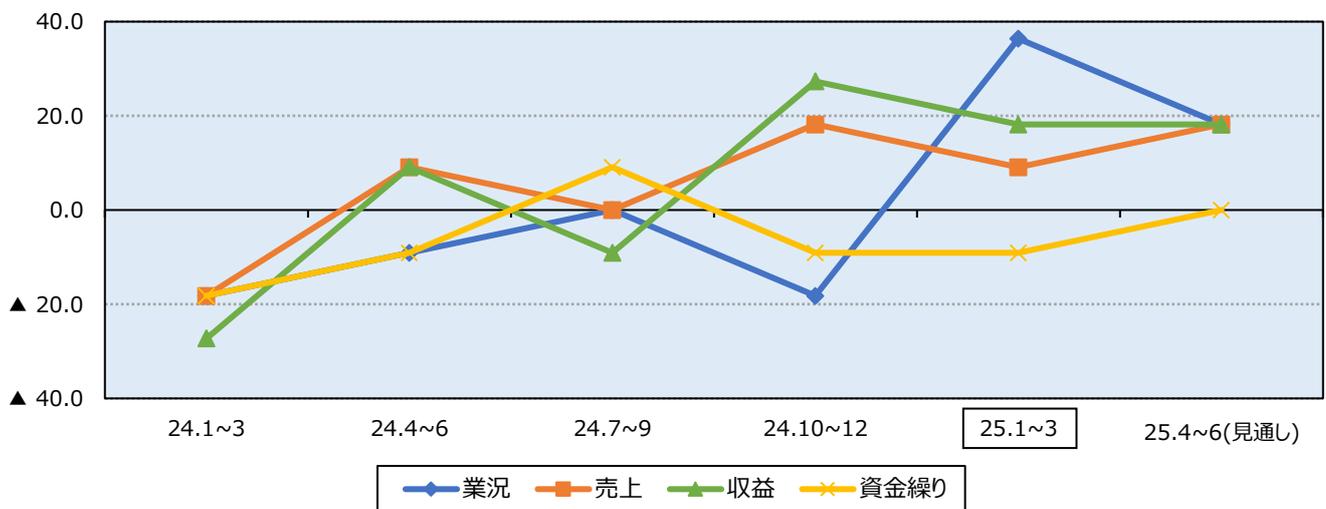
| | 前年同期 | 前期 | 今期 | 来期 |
|---------|-------|-------|------|------|
| 業 況 | ▲18.2 | ▲18.2 | 36.4 | 18.2 |
| 売 上 | ▲18.2 | 18.2 | 9.1 | 18.2 |
| 収 益 | ▲27.3 | 27.3 | 18.2 | 18.2 |
| 資 金 繰 り | ▲18.2 | ▲9.1 | ▲9.1 | 0.0 |

【今期】

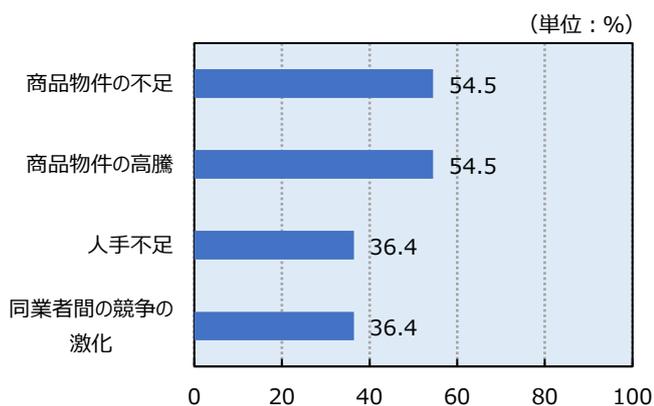
前期比で、業況D Iが改善、売上D Iと収益D Iが悪化、資金繰りD Iが横這いとなりました。前年同期比では、すべてのD Iが改善しました。

【来期】

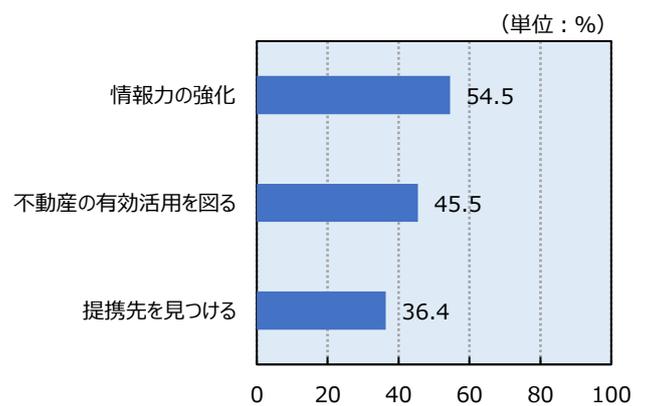
今期実績比で、業況D Iが悪化、売上D Iと資金繰りD Iが改善、収益D Iが横這いの見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○購入需要に対して物件の供給が追いついていない状況である。(不動産売買)

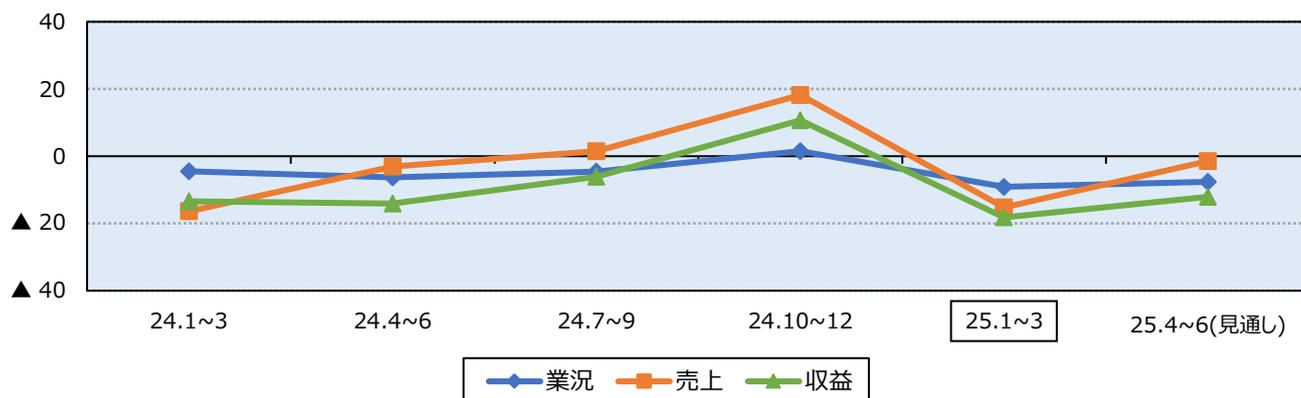
○仕入れコストの増加および物件不足が課題となっている。(不動産売買)

<地区別D Iの状況>

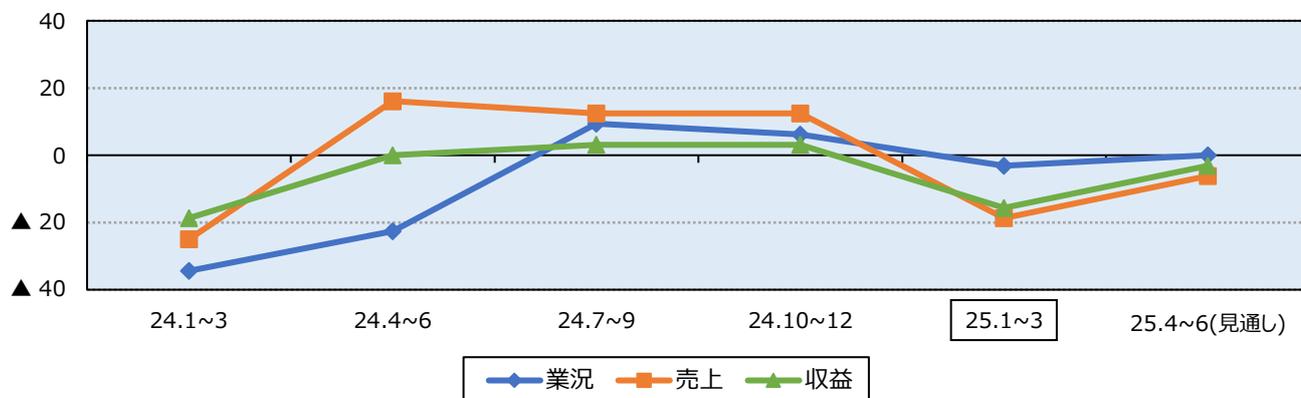
山梨県国中地区と東部富士五湖地区では、前期比ですべてのD Iが悪化しました。相模原周辺地区では、業況D Iが改善し、売上D Iと収益D Iが悪化しました。前年同期比では、東部富士五湖地区と相模原周辺地区ですべてのD Iが改善しました。山梨県国中地区では、業況D Iと収益D Iが悪化し、売上D Iが改善しました。

来期見通しについては、山梨県国中地区と東部富士五湖地区で、すべてのD Iが今期実績比で改善の見通しとなりました。相模原周辺地区では、業況D Iが悪化、売上D Iと収益D Iが改善の見通しとなりました。

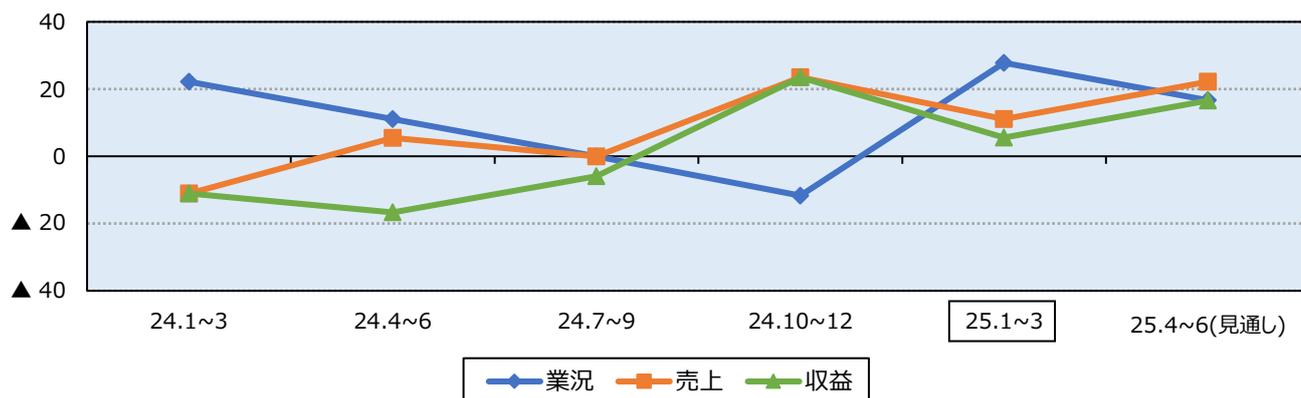
【 山梨県国中地区D Iの推移 】



【 東部富士五湖地区D Iの推移 】



【 相模原周辺地区D Iの推移 】

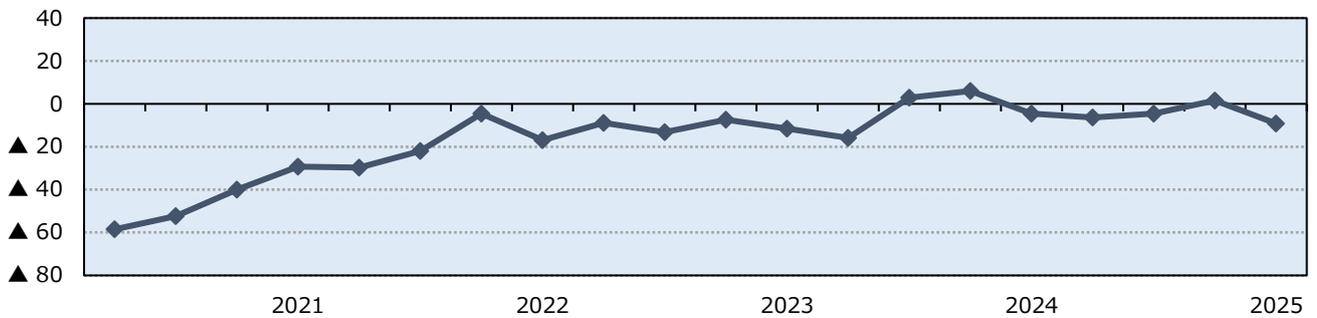


<業況D Iの5年間の推移>

【 総合D Iの推移 】



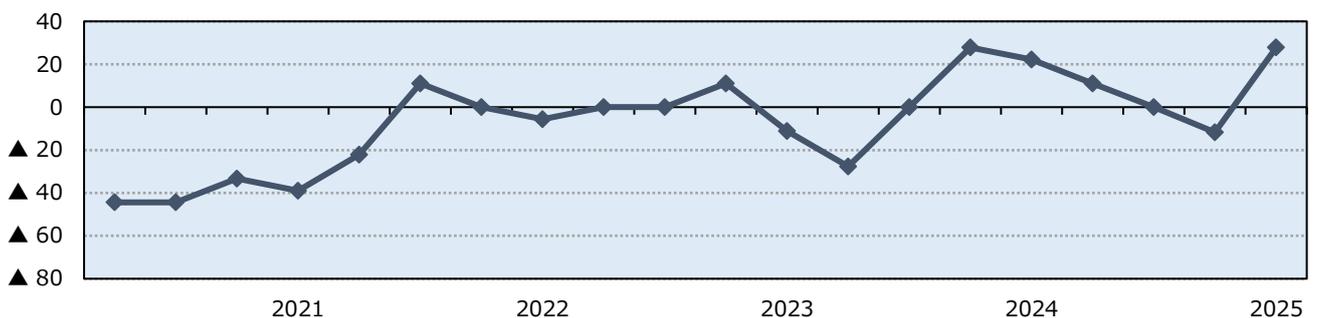
【 山梨県国中地区D Iの推移 】



【 東部富士五湖地区D Iの推移 】



【 相模原周辺地区D Iの推移 】

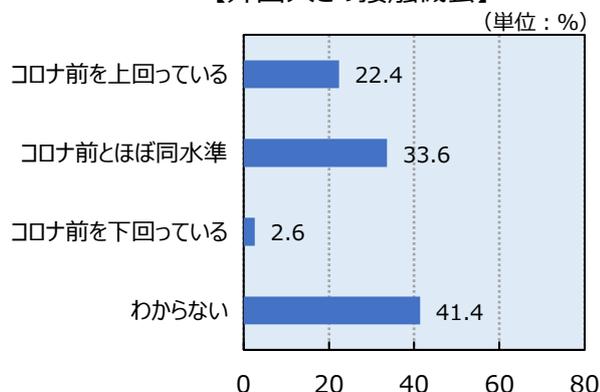


外国人・海外情勢と中小企業 (回答企業：116社)

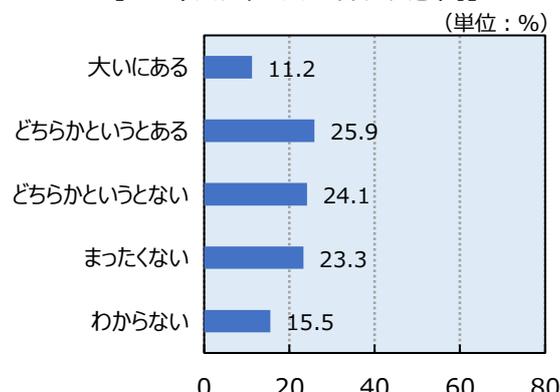
問1 昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。

- コロナ前と比較した外国人との接触機会について、「わからない」と回答した企業が41.4%と最も多く、次いで「コロナ前とほぼ同水準」が33.6%となりました。
- 今後ビジネスチャンスを増やす意向について、「どちらかというところ」と回答した企業が25.9%と最も多く、次いで「どちらかというところない」が24.1%となりました。

【外国人との接触機会】



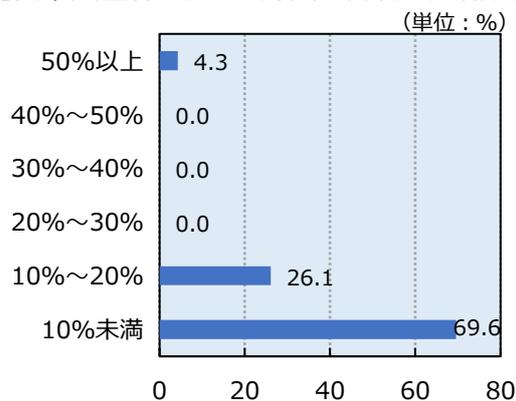
【ビジネスチャンスを増やす意向】



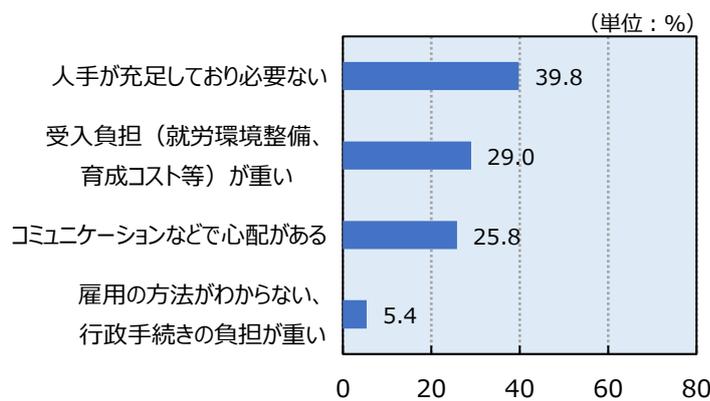
問2 貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合をお答えください。また、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由をお答えください。

- 「外国人労働者を雇用している」と回答した企業は全体の19.8%となりました。このうち、従業員全体に占める外国人労働者の割合について、「10%未満」と回答した企業が69.6%と最も多く、次いで「10%～20%」が26.1%となりました。
- 「外国人労働者を雇用していない」と回答した企業は全体の80.2%となりました。このうち、雇用していない理由について、「人手が充足しており必要ない」と回答した企業が39.8%と最も多く、次いで「受入負担（就労環境整備、育成コスト等）が重い」が29.0%となりました。

【従業員全体に占める外国人労働者の割合】



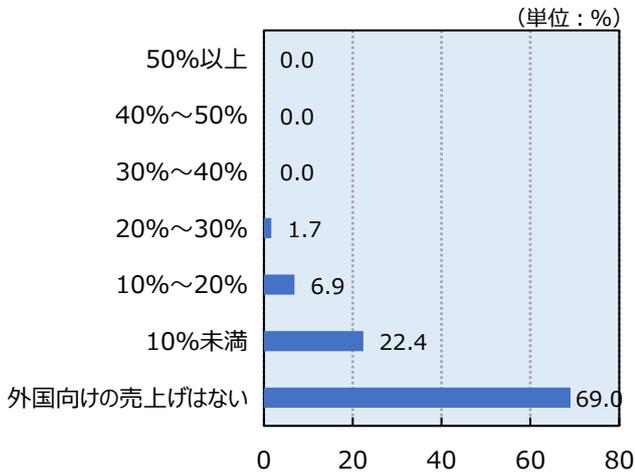
【外国人労働者を雇用していない理由】



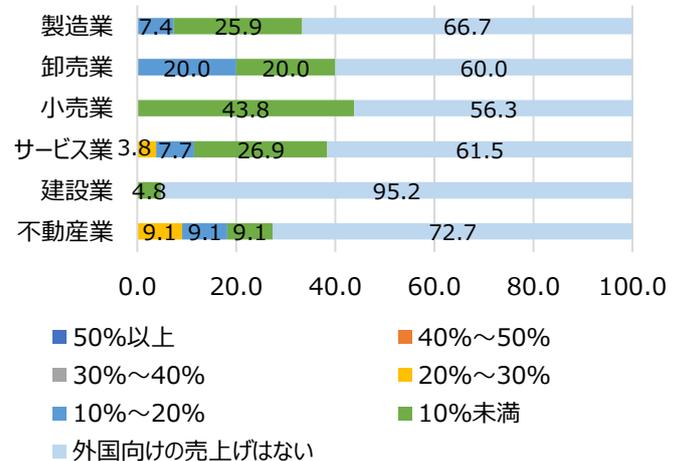
問3 貴社では、売上全体に占める外国人（旅行者を含む）、もしくは外国企業向けの売上げ（輸出を含む）はどれくらいですか。

- 外国人、もしくは外国企業向けの売上げが占める割合について、「外国向けの売上げはない」と回答した企業が69.0%と最も多く、次いで「10%未満」が22.4%となりました。

【売上全体に占める外国人、もしくは外国企業向けの売上げ】



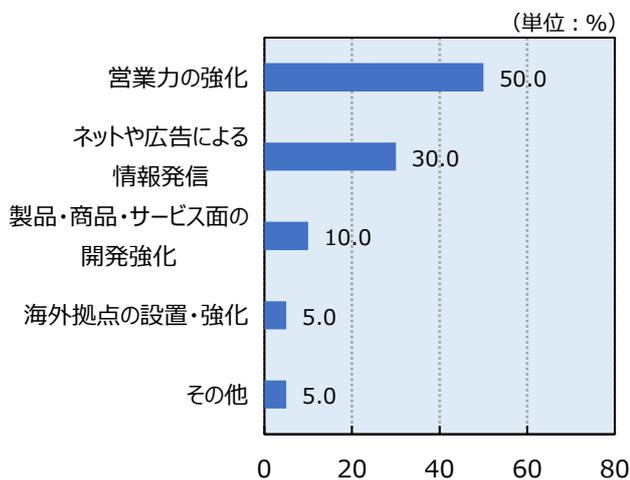
【業種別回答割合】



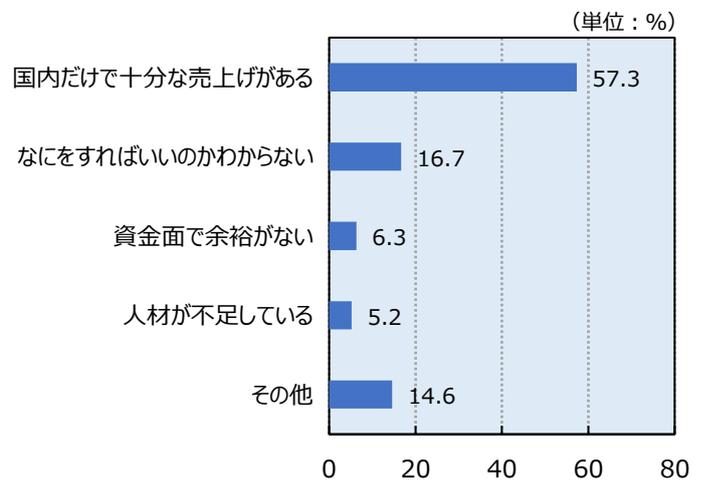
問4 貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについてお答えください。行っていない企業は、行っていない理由についてお答えください。

- 「**外国向けの取組みを行っている**」と回答した企業は全体の17.2%となりました。このうち、取組み内容について、「営業力の強化」と回答した企業が50.0%と最も多く、次いで「ネットや広告による情報発信」が30.0%となりました。
- 「**外国向けの取組みを行っていない**」と回答した企業は全体の82.8%となりました。このうち、取組みを行っていない理由について、「国内だけで十分な売上げがある」と回答した企業が57.3%と最も多く、次いで「何をすればいいのかわからない」が16.7%となりました。

【外国向けの売上げ増加のための取組み】



【外国向けの取組みを行っていない理由】

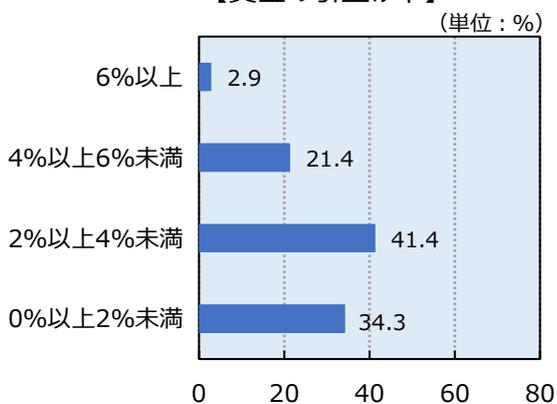


※特別設問

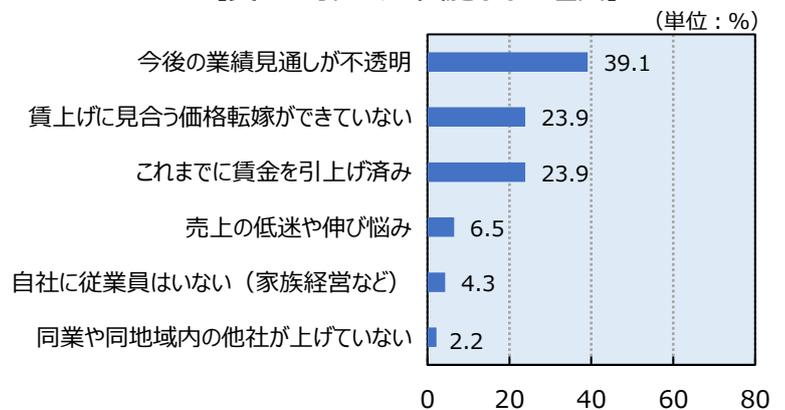
問5 貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の上げを実施（実施予定を含む）しますか。上げる場合はその賃金上げ率についてお答えください。また、上げない場合は上げなかった理由についてお答えください。

- 「**2025年中に賃金の上げを実施する**」と回答した企業は全体の60.3%となりました。このうち、上げ率について、「2%以上4%未満」と回答した企業が41.4%と最も多く、次いで「0%以上2%未満」が34.3%となりました。
- 「**2025年中に賃金の上げを実施しない**」と回答した企業は全体の39.7%となりました。このうち、上げない理由について、「今後の業績見通しが不透明」と回答した企業が39.1%と最も多く、次いで「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」と「これまでに賃金を上げ済み」がともに23.9%となりました。

【賃金の上げ率】



【賃金の上げを実施しない理由】



★地域のイベント情報

南アルプス開山祭（開催日：例年6月下旬頃）

⇒夏山シーズンを迎えるにあたり、南アルプス先駆者の偉業への感謝の意と入山者の安全を祈念して献花や蔓払いのセレモニーが行われます。

会場：広河原インフォメーションセンター（南アルプス市芦安芦倉字野呂川入1685）

交通アクセス：中部横断自動車道南アルプス IC より車で芦安まで約20分、芦安からバスまたはタクシーで約1時間
（※広河原に通じる南アルプス林道はマイカー規制のため、バス、タクシーのみ）

甲府さかなっば市（開催日：6月28日）

⇒甲府市地方卸売市場協会の主催により、3、6、9月の第4土曜日に開催。市場を開放して、仲卸店舗で野菜や果物、魚介類などを一般消費者に向けて販売します。

会場：甲府市地方卸売市場（山梨県甲府市国母6-5-1）

交通アクセス：中央自動車道甲府南 IC または甲府昭和 IC より車で15分

城北里山まつり（開催日：例年6月下旬頃）

⇒神奈川県の下山保全モデル地区第1号認定の田園風景の中で、アジサイとホテルを一緒に楽しむことができます。地元特産品や地場野菜の販売も行われます。

会場：城山自然ふれあい水路周辺（相模原市緑区川尻 城北穴川地区）

交通アクセス：JR 相原駅よりバスで約15分、「円林寺前」下車、徒歩で約15分

編集後記

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のD I 調査では、総合ですべてのD I が前期（10月～12月）比で悪化しました。業況D I と収益D I は、前期調査で1年ぶりのプラス値となりましたが、今期調査では再びマイナス値に転じています。業種別では、製造業と卸売業で悪化しており、経営上の課題として、「原材料・材料価格の上昇」、「人手不足」、「売上の停滞・減少」を挙げる企業が依然として多い印象です。

特別調査では、「外国人・海外情勢と中小企業」と題し調査しました。調査の結果、外国人労働者を雇用している企業は約20%、外国人・外国企業向けの売上有る企業は約30%となり、調査対象企業の多くが、人材・販路面において、国内市場を中心としている結果となりました。

当金庫では、お客さまの資金繰り支援はもとより、本業支援にも積極的に取り組んでおります。海外進出支援や人材支援等、経営に関する様々な相談を受け付けており、外部専門機関との連携等を通じた情報提供や課題解決に注力しております。ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。